

# 徳永 二男

## Tsugio Tokunaga, Violin

### Profile

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。

ヴァイオリニストの父茂および鷺見三郎氏に師事。桐朋学園にて、齋藤秀雄氏に師事。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。1968年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。

1976年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担い、長年NHK交響楽団の“顔”として抜群の知名度と人気を誇る。

NHK交響楽団在籍時代よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれ、とりわけ、ケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演での、ヴォルフガング・サヴァリッシュ氏との室内楽コンサート、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートに出演して絶賛を博した。

1994年にNHK交響楽団を退団し、ソロ、室内楽に専念。

1992年より鎌倉芸術館ソリストを主宰し、1995年から2013年までJTアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、1996年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務めるなど、日本音楽界の中心的立場を確固たるものとしている。

ソリストとしても、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。

2008年から毎年、東京でリサイタル・シリーズを行う一方で、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。

2015年は、ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクールの審査員を務めた。

2016年には、楽壇生活50周年を迎え、多くの記念公演を行い、文化庁長官表彰も受ける。

近年は指揮者として、東京フィル、広島響、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。2018年には、ギドン・クレーメルをソリストに迎え、クレメラー・バルチカと広響の合同オーケストラを指揮して好評を博した。

CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、パガニーニのカプリースなどをリリースしており、最新盤は「徳永二男プレイズ R.シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ」(オクタヴィア・レコード)。

桐朋学園大学特任教授。



(C)ヒダキトモコ

## 指揮公開レッスン

12月17日(火) 17:30~20:30

中目黒・代官山キャンパス C301特大教室

【曲目】	J.ブラームス	ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 作品102
【レッスン受講生】		石崎 匠馬・栗原 翼 (学部4年) 岡本 陸・小林 雄太・Anna Litvinova(学部3年) 広田 華奈子(学部2年)
【ナビゲーター】		広上 淳一(本学指揮主任教授)
【独奏ヴァイオリン】		福田 ひろみ(本学指揮特別アドバイザー)
【独奏チェロ】		朴 賢娥(本学指揮特別アドバイザー)
【オーケストラ】		本学学生有志

【聴講自由・入場無料】

★お問い合わせ： 東京音楽大学 指揮研究室 [conducting@tokyo-ondai.ac.jp](mailto:conducting@tokyo-ondai.ac.jp)